

2022NBC杯 大会参加のガイドライン・コロナ対策

長崎県バスケットボール協会 U12 部会

1. 大会の開催や中止について

(1) 大会開催の可否判断

大会開催の可否判断は、「参加チーム選手スタッフ・運営者・関係者の安全確保が最優先」という前提で、県協会 U12 部会が総合的な判断をもっておこなう。「大会中止に至る状況」については以下の通りとする。

① 感染拡大が懸念される場合

・関係する自治体や主催者が、感染拡大が懸念されると判断した場合は大会の中止を検討する。

② 不可抗力によりチームが参加できない場合

・県市町村の自治体や行政により大会参加に関わる部分的な制限があり、開催が困難と判断した場合は大会の中止を検討する。

③ 辞退によりチームが大会に参加できない場合

・チーム事情で大会に参加できない場合は、基本的に大会は実施／継続とする。但し、一定数以上の辞退チームがある場合には大会中止を検討する。(JBA のガイドラインでは参加チーム数の 10% 以上で検討。2022NBC杯は 16 チーム以上の辞退で中止を検討。)

(2) 大会中の中止の判断

・「大会中止に至る状況」に該当した場合、大会中でも急遽中止を検討する場合がある。

・大会中に陽性者発生の場合、保健所の指導により陽性者行動のヒアリングから濃厚接触者の判定及び各種消毒作業により大会運営に大きな支障を来す場合は大会を中止とする。

※大会前、大会中の中止の連絡は、県 U12 ホームページ上で行う。

2. 大会に参加するチームについて

(1) 大会までに参加チームが行うこと

・大会に参加するチームは、参加者が大会を開催する日までの 2 週間に感染が疑われる症状がないかを把握し、健康管理に努める。また大会中の感染のリスク等も理解し、感染対策を十分講じた上で参加すること。

・スマートフォンを持っている参加者は、事前に厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) をダウンロードすること。使用方法や、インストールの方法については、下記 URL を参考。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

・大会 2 週間前から各チームの参加者 (選手、指導者、審判、保護者、関係者) は長崎県健康管理チャットサービス (N-CHAT) に入力すること。2 週間の入力がない者は大会に参加できないので注意すること。

入力期間：令和 4 年 1 月 22 日 (土) ～ 2 月 13 日 (日) 大会期間中

N-CHAT 団体番号	42909107603 (11 桁)
団体名	長崎県バスケットボール協会 C 級大会 (U12 大会共通)

ID は TeamJBA の個人登録番号を入力

TeamJBA に登録がない役員は役職名 (例：会長)：kaiyou (半角英数)

TeamJBA に登録がない保護者 (保護者 1 名の場合)：お子様の登録番号の後に「f1」(半角英数) と追加する。例 (保護者 1 名)：123456789f1 例 (保護者 2 名)：123456789f2

N-CHAT 説明動画

①健康情報入力編 <https://www.youtube.com/watch?v=cKIFvdsuhBw&feature=youtu.be>

②統計画面編 <https://www.youtube.com/watch?v=X75FbEtWrVg&feature=youtu.be>

③質問編 <https://www.youtube.com/watch?v=4rB8UCZQNTs&feature=youtu.be>

(2) チームの大会参加の判断

- ・大会開催前の参加判断の基準は、長崎県バスケットボール協会「大会参加判断基準」を参考にすること。
- ・大会中に陽性者／濃厚接触者が発生したチームは大会に参加することはできない。陽性者ではない、濃厚接触者ではないと保健所により判定された者のみでも、出場はできない。
- ・急遽、不参加となった場合、または大会前日や大会中に陽性者／濃厚接触者が判明した場合、当該チーム代表者は、すぐに主催者または各地区総務と連絡を取り、その旨や状況を伝えること。

3. 試合の成立・不成立

- ・チームの都合による辞退、または陽性者／濃厚接触者／体調不良者の判明により辞退しなければならないとなった場合、原則として試合は対戦チームを不戦勝とし、20-0とする。

4. ライセンスを持つコーチまたは帯同審判が参加できない場合の対応

- ・チームを指揮するコーチが陽性者／濃厚接触者／体調不良者となり、コーチライセンス保持者が不在となった場合でも、大会主催者の判断で試合を行うことができるものとする。ただし不在となったチームの代表者は速やかに主催者に連絡をし、合わせてJBAの規定に従いその理由を証明する書類を大会主催者まで速やかに提出すること（様式→JBA ホームページ：「各大会におけるコーチライセンスの適用について」）
- ・帯同審判が陽性者／濃厚接触者／体調不良者となり、審判ライセンス保持者が不在となった場合、基本は各チーム内で審判を確保しておき対応すること。

5. 参加する際の新型コロナウイルス感染対策について

(1) 参加者について

- ・参加チームの選手、指導者、保護者、チーム関係者のみが会場に入場することができる。
- ・1日目、2日目の参加人数は上記の合計で **1チーム30名まで**とする。また最終日の西彼総合体育館は **1チーム35名**までとする。なお登録している選手等については、怪我や病気などの特別な場合を除いては、変更は認められない。
- ・当日の朝に受付で「参加者健康状態確認書（チーム）」を提出すること。そこには、チームの選手・監督・コーチ（チームスタッフを含む）・保護者等の健康状態を記入する。それ以外の応援者は「参加者健康状態確認書（来場者）」を受付で提出して会場に入る。健康状態確認書は参加日ごとに提出する。
- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - 体調不良の場合（例：37.5度以上の発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 濃厚接触者である疑いがある場合（例：同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる）
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・大会前2週間以内に37.5度以上の発熱があっても、医者で診断で可であれば参加することができる。
- ・大会当日の2週間前（令和4年1月22日）から各チームの参加者（選手、指導者、保護者、関係者）は全員、長崎県健康管理チャットサービス（N-CHAT）に入力すること。また大会中も継続して入力すること。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告すること。
- ・【重要】不正な行為（入場含む）、誹謗中傷や役員への指示に従わない行為等があった場合は、NBA「規律委員会規程」に従って処分を行う。チーム責任者は責任をもってチームと応援者に指導を徹底すること。

(2) 会場について

- ・朝から会場に入館する際は手指の消毒を行ってから入館すること。
- ・場内のチーム入替は完全入替制で行う。会場に入るチームは、前試合の終わったチーム関係者がフロアの外に出てから入場すること。
- ・会場に入る際、体育館入口や通路で待機すると通路の妨げとなるので、体育館外で待機すること。
- ・観戦時は、隣や前後の人との距離を確保し、大きな声での応援は控えること。
- ・会場内では、試合ごとや時間ごとに、こまめな手洗い、うがいとアルコール等による手指消毒をすること。
- ・チーム待機場所は指定されたところを使用すること（外もあり得る）。帰る際は各チームで消毒すること。
- ・チーム応援場所は観戦席前方に確保する（会場によっては確保できない所あり）。自チームの試合の時のみ使用し、終わったらその都度消毒をして、次のチームと入れ替わること。
- ・昼食は間隔をとって向き合わないように注意しながらとり、昼食中の会話は控えること。
- ・フロアと観覧席の行き来は、試合をするチームの選手、指導者、ベンチに入る保護者のみ可。その他の人は不可。
- ・開会式や指導者会は行わない。会場内の密を防ぐため、チームは試合に合わせ、早く来すぎないように試合の1時間前を目安に来場すること。また1日目・2日目負けたチームはTO等が済んだら速やかに帰ること。
- ・その他、各会場についての注意事項はホームページにアップされるので確認すること。

(3) 試合について

- ・ゲームに出場している選手以外は、必ずマスクを着用すること。マスクを外して声を出すことやマスクをしても声をそろえて大きな声を出すことは不可である。指導者もベンチでは必ずマスクを着用すること。
- ・審判はホイッスルカバー、レフェリーマスクの両方を着用すること。
- ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ・試合前のアップは自チームのベンチ前で行うこと。
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しないこと。
- ・ハイタッチ、抱擁を行わないこと。
- ・咳エチケットを守ること。
- ・ボトルやタオルを共有しないこと。
- ・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮すること。
- ・前後半でボールを交換し、オフィシャルのチームがボールの消毒を行うこと（消毒の備品はオフィシャルのチームで準備をする）。
- ・クォーターごとに試合に出る選手の手指の消毒を行うこと。
- ・試合終了後には各チーム、使用したベンチの消毒を行うこと。

(5) その他

- ・消毒関係の備品は、各チームで用意すること。
- ・ゴミを収集する際には、マスクや手袋を必ず着用する。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、各チームで持ち帰って廃棄すること。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をすること。
- ・チームの大会参加の自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間で誹謗中傷が起こることは決してあってはならない。事前にこの対応についてチーム内・関係者・保護者等と共通認識をもつ機会をつくること。